



「佐渡狐」を演じる万作氏（右）。平成19年に人間国宝に認定されています



野村万作・萬齋・裕基  
久留米で出会う **狂言の会**  
野村家三代が織りなす  
様式美と人間の喜怒哀楽

9月24日(日)に久留米シティプラザのザ・グランドホールで「野村万作・萬齋・裕基 久留米で出会う狂言の会」を開催します。狂言は、中世の庶民の日常生活を演じる喜劇。幅広い分野で活躍する狂言師たちが、古典ならではの様式美とともに、現代に通じる人間の生き方を描きます。演目は、万作氏と萬齋氏が「初めて狂言を観る人も楽しめるもの」と選んだもの。狂言の魅力である謡・舞・語りを堪能できます。冒頭には萬齋氏による狂言や演目の解説も。難しいと思われがちな伝統芸能を若い世代も気軽に楽しめるように学生席も用意しています。

**萬齋氏が語る**

**ここが見どころ！**

『佐渡狐』は、のどかな笑いの中に、世相への皮肉が感じられる演目。私と裕基が実の親子で勤める『二人袴』は、三段之舞の小書（特殊演出）により囃子が加わり、いっそうめでたく賑やかで、笑いに満ちた作品となります。一調『貝尽くし』では、中世歌謡の香りを残す狂言の謡を、久留米出身の太鼓方・田中達さんにお相手いただいで謡います。素囃子『獅子』は、浄土

に住む霊獣が戯れ遊ぶ様を表現する豪壮な曲。洗練された様式美をもって、笑いとともに人間の喜怒哀楽を表現する、狂言の魅力をたっぷりとお楽しみください。



【番組】解説「狂言のおはなし」、一調「貝尽くし」、狂言「佐渡狐」、素囃子「獅子」、狂言「二人袴」三段之舞  
◎久留米シティプラザ ☎0942・36・3000、FAX 0942・36・3087

**9/24**  
(日)  
**15:00開演**

**チケット情報**

【指定席】S席 5,000円 A席 3,000円  
【自由席】学生席 500円 学生同伴席 1,000円  
《一般販売》 6月25日(日) 10時から  
《久留米広域連携中枢都市圏 先行販売》  
6月14日(水) 10時から 16日(金) 18時まで  
久留米市、大川市、小都市、うきは市、大刀洗町、大木町に住んでいる人が対象。  
指定席のみをシティプラザ WEB と電話 (エムアンドエム ☎092・751・8257) で販売。窓口販売はありません。



動画公開



アーツ・アンド・クラフツとデザイン

**理想としたものづくりの時代**

ティファニー・スタジオ  
《ブドウのつるに覆われたインク壺》



ウィリアム・モリス  
《泥棒》1883年



ジョン・ヘンリー・ダール  
《ゴールデン・リリー》  
1899年



久留米市美術館  
KURUME CITY ART MUSEUM  
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

背景写真：ウィリアム・モリス  
《柳の枝》1887年

Photo©Brain Trust Inc.

**Arts & Crafts and Design**

From William Morris to Frank Lloyd Wright

6月17日(土)から8月17日(木)まで、久留米市美術館で特別展「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」が開催されます。ウィリアム・モリスをはじめ、アーツ・アンド・クラフツの立役者たちによる代表作、約170点を展示します。

**誰もが楽しめるデザインを**

モリスが生きた19世紀の英国では、第二次産業革命が進み、機械化によって画一的な製品が流通しました。対して、モリスは手仕事と生活が結びついていた、かつての「ものづくり」の時代を理想としました。部屋の壁紙やタイル、家具まで仲間と制作。それをきっかけに、誰もがデザインを楽しめるライフスタイルを提唱しました。モリスの考えは、「アーツ・アンド・クラフツ」として広く受け入れられました。1888年には、モリスと関わりがあったウィリアム・ド・モーガンらを中心に、第1回アーツ・アンド・クラフツ展覧会を開催。次第に産業デザインとして展開し、メーカーによる製

品を通して、多くの人たちに美しさを提供しました。その実践はヨーロッパ各地や北米にも広がっていきました。

本展では、モリスの壁紙やファブリックなど代表作20点を紹介します。そのほか、アシユビやステイックリールによる食器や家具類など、暮らしに関わるさまざまな展示も。英国を中心とした作家やメーカーの仕事を通して、デザインの多彩な展開を紹介します。

会期中、講演会やワークショップなどの関連イベントを実施します。詳しくは、市美術館ホームページで確認してください。

◆会期 6月17日(土)から8月17日(木)までの10時から17時。入館は16時30分まで。月曜日は休館。7月17日(祝)は開館します ◆入場料 一般 1,000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下無料。前売り券700円。チケットぴあ、ローソンなどで販売  
◎久留米市美術館 ☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134